

寅さん歩 その 24

半径 30 分以内－14

坂下通り



平野 武宏

「寅さん歩 半径 30 分以内」は 2020 年の新型コロナウイルス感染拡大に伴う外出自粛の中での新テーマです。八柳修之さんの「STAY HOME 半径 500m 以内」からヒントをいただき、自宅から 30 分以内で歩いて行けるマイお散歩コースです。新大塚駅から春日通りを大塚三丁目交差点まで行き、右折、不忍通りの富士見坂の途中に写真上右の「坂下通り入口」の表示があります。今回は「坂下通り」沿いにある史跡を見ながらのお散歩です。最寄駅は交通機関を利用した場合の代表例です。

バーチャルウォークの途中経過も報告します。

[豊島岡墓地]

文京区大塚 5-39

最寄駅 有楽町線 護国寺駅/丸の内線 新大塚駅

護国寺前から不忍通り富士見坂を進むと左側に写真下の立派な門があります。明治政府により明治 6 年（1873 年）護国寺所有の敷地に明治天皇の第一子が埋葬



されました。

以降は「豊島ヶ岡御陵」として皇族専用の墓地となりました。当時、皇族の墓地は京都にあり、東京の皇居に近いこの地が選ばれたとのことです。名称は昭和 2 年（1927 年）「豊島岡墓地」となりました。香淳皇后（昭和天皇の皇后）の大葬も、この地で行われたのち、多摩御陵（天皇

の御陵）に埋葬されています。葬祭時の記帳などの他は一般国民の参拝はできません。

次に向かう「吹上稲荷神社」へは豊島岡墓地脇の小道からも行けますが、直進

して「坂下通り入り口」を左折して坂下通りを歩きます。

[吹上稲荷神社] 文京区大塚5-21-11

坂下通りを進むと、左側の建物の間に写真下左の大きな鳥居があります。吹上稲荷神社の入り口です。左折して中に入ると、また写真下右の鳥居があります。鳥居の左後ろの森は豊島岡墓地です。



写真左は社殿です。説明板には
[元和8年(1622年)徳川秀忠
が下野国日光山より稲荷大神
の御神体を戴き、江戸城中の
紅葉山吹上御殿に「東稲荷宮」
と称し、海川山の産食物の神
として、幕府が宗敬し奉り、
武家諸公の信仰が厚かった。
後に徳川家から水戸家の分家
松平大学頭家へ、1751年(宝

暦元年)に大塚領民の鎮守神として現小石川四丁目に移遷し、宗敬者多数に及び武家の信仰も厚かった。また、この時に江戸城内吹上御殿に鎮座されるを以て、吹上稲荷神社と改名奉った。その後、護国寺月光殿から大塚上町へ、そして大塚仲町へと移遷し、明治45年(1912年)に大塚坂下町(現在地)に遷座し奉り今日に及ぶ]と記載。ご祭神は保食之大神(ウケモチノオオカミ)とありました。寅次郎、初めて知った神様です。社殿前のお賽銭箱には徳川家の葵の紋章が輝いていました。

写真上右手の社務所で次に向かう大塚先儒墓所の門の鍵を貸してもらいました。神社の裏にある史跡なので東京都から見学者のための鍵の貸し出しを依頼されているとのこと。指定用紙に住所・氏名を書いて鍵を借りました。

[大塚先儒墓所] 文京区大塚 5-23-1

吹上稲荷神社の右脇を出て左の道を行くとすぐに写真下左の入り口があります。この門には鍵はなく、入るとその先の写真下右の門に鍵がかかっています。門には「見学希望者は吹上稲荷神社で鍵を借りてください」との張り紙あり。



文字がかすれた説明板は「ここは寛永の頃(1624年～43年)2代将軍徳川秀忠や水戸藩祖 徳川頼房の儒師 人見道生の邸址で寛文10年(1670年)道生の死後その遺骸を邸内に葬ったことが起こりと言われ、都下における儒教関係の史跡として他に比類ないところです。大正10年3月に国指定史跡になっています」と読み取れました。約690坪の土地には63名の江戸時代の儒学者達の碑が立ち並んでいました。写真右は入ってすぐ右手にある碑です。





今回は吹上稲荷神社脇から行きましたが、坂下通りにある案内表示「大塚先儒墓所下」を入ると、行き過ぎで、すぐに左折して少し戻りますので、ご注意ください。

[こぼれ話] 坂下通りの坂とは？

坂下通り入り口表示は不忍通りの富士見坂の途中にあります。写真下左の手前の坂が富士見坂で正面の道が坂下通りです。坂下通りを行くと、大塚先儒墓所の先に「開運坂下」の表示がありました。写真下右は開運坂です。



開運坂の途中にある説明板には「この坂名は、講道館の創始者で教育者の加納治五郎（1860年～1938年）によって名付けられとされる。

かつて坂上北側には講道館の道場があり、開運坂道場と呼ばれたまた坂の突き当りには加納治五郎邸もあった。昭和8年（1933年）道場は水道橋に移転した」と記載。坂下通りの坂とはどの坂の名で付けられたのかと考えていた寅次郎、この説明板を読んで、坂下通りの坂名はこの開運坂だと勝手に思い込み、帰ろうとすると、開運坂の左側先に旧大塚坂下町の説明板がありました。

説明板には「もと小石川村の内で、幕府の薬園があった。薬園の移転後の薬園跡地は護国寺領となった。後、町屋ができ、大塚三丁目交差点から護国寺に下る富士見坂の北側にあるので、坂下町と命名された」と記載。

坂下通りの坂は富士見坂のことでした。開運坂を下りて右折して来た道に戻ると、この説明板は見られず、「慌てて帰らずに周りをよく確認してよかった」と学んだ寅次郎でした。

FWAホームページのリンク先にあるJVA（日本市民スポーツ連盟）ホームページの「平野寅次郎のYR散歩」No25 文京の坂113 ⑥大塚ブロックをご覧ください。寅次郎はJVAのホームページにも登場しています。

[バーチャルウォーク途中経過]

八柳修之さん作成の多くのバーチャルウォークコースがFWAホームページ「YR・四季の道」に掲載されています。寅次郎、「日光道中二十一次」を終え、宇都宮に戻り、バーチャルウォーク「奥州街道を竜飛岬まで」に挑戦です。「奥州街道」の日本橋から宇都宮までは「日光街道（道中）」と共用なので宇都宮を出発点としました。2020年12月23日栃木県宇都宮市を出立、2021年6月6日、岩手県盛岡宿（江戸から553km）に到着しました。盛岡の三大麺（わんこそば、盛岡冷麺、じゃじゃ麺）をいただきながら、少し長居しています。

新型コロナウイルス感染拡大で例会が中止となっています。運動不足にならないように自宅近くにマイお散歩コースを見つけ、その距離を累計して楽しむバーチャルウォークを始めませんか。FWAのHP「YR・四季の道」には「ひとりで歩くコーナー」があり、コースが紹介されています。マイお散歩や一人歩きでの距離を累計して進む「バーチャルコース」が多く掲載されていますのでご利用ください。歩く際は密閉・密集・密接にならないようご注意ください！

平野 寅次郎 拝